



# ReadyNAS™ NV+

## Getting Started Guide Starthilfe Handbuch 始めにお読み下さい 快速安装指南



Please use qualified SATA disks from the [ReadyNAS Device Compatibility List](#) if you need to install disks by yourself.

Benützen Sie freigegebene SATA Festplatten aus der ReadyNAS Device Compatibility List wenn Sie selbst Platten installieren müssen.

ディスクを装着される場合は、ReadyNAS デバイス動作確認リストにあるSATAディスクをご使用ください。

如需自行安装硬盘, 请参见 ReadyNAS 兼容设备清单选用经过测试认定的型号的SATA硬盘。

## 1 パッケージの内容を確認してください



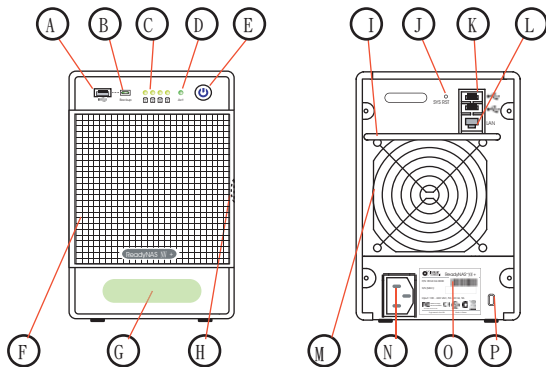
同梱内容:

- (1) ReadyNAS NV+ 本体
- (4) ハードディスクトレイ
- (1) 始めにお読み下さい(本紙)
- (1) 保証書
- (1) 電源ケーブル
- (1) イーサネットケーブル
- (1) ReadyNASインストールCD
- (16) ハードディスク固定用ネジ



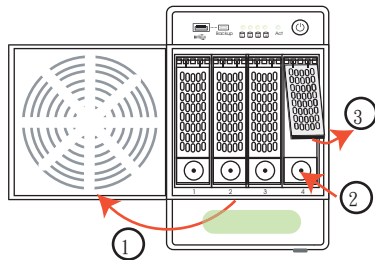
ベアボーンタイプをご購入されたお客様は、ReadyNASをネットワークに接続する前に、下記のディスクインストールガイドをお読み下さい。

## 2 各部の名称

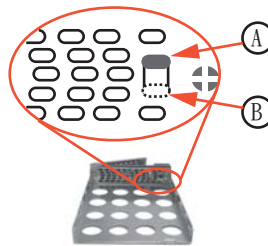


- A - USBポート1
- B - バックアップボタン (プログラム可)
- C - ディスクLED、ディスク装着時に緑色に点灯します
- D - ディスクアクセスLED
- E - 電源ボタン(ステータスLED付)。電源をオフにするには、正面の電源ボタンを5秒間または、ディスクLEDが点滅をはじめるまで押してください。
- F - ディスクトレイドア
- G - LCDパネル
- H - ディスクトレイドア取っ手
- I - 持ち運び用ハンドル
- J - システムリセット用スイッチ穴
- K - USBポート2/3
- L - イーサネットポート(RJ45)
- M - 冷却用ファン
- N - 電源コネクタ(100~240V 50/60Hz)
- O - シリアルナンバー/Macアドレスラベル
- P - ケンジントンセキュリティホール

### 3 ハードディスクのインストール（オプションベアボーンユニットを購入の場合）

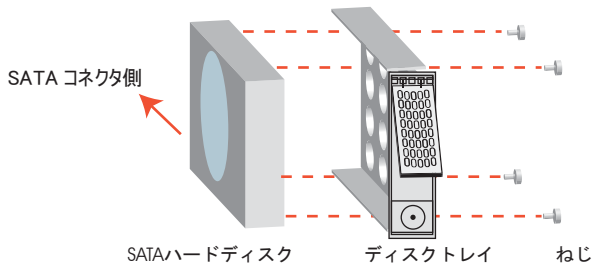
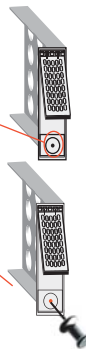


- 1 ReadyNAS からディスクトレイを外す。  
① ドアを開ける。② ボタンを押してレバーを起す。③ トレイを取り出す。

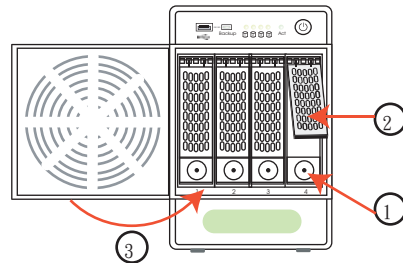


- A アンロック状態：(標準位置)  
トレイを開ける時に、ボタンを押してください。
- B ロック状態：(下側)  
トレイを開ける時に、ピンなどでボタンの中の小さな穴を押してください。

- 2 トレイの中にディスクを入れる前にロック状態にして下さい。

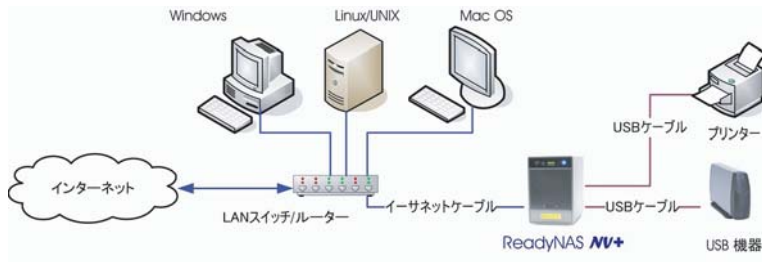


- 3 トレイの中にハードディスクを固定して下さい。



- 4 レバーを起こした状態で、トレイをしっかりと差し込み、レバーを下げて、通風孔のドアを閉じてください。

## 4 ReadyNASをネットワークに接続する



ReadyNASをネットワークに接続



ReadyNASを直接接続  
(クロスケーブルは必要ありません)

## 5 RAIDarのインストール

- 1 インストールCDの内容：
  - Windows, MacおよびLinux用RAIDarユーティリティ
  - ReadyNASクイックセットアップガイド
  - ReadyNASユーザ・ガイド
  - エンドユーザ・ライセンス・アグリエメント
  - EMC Retrospect バックアップソフトウェア

\* EMC Retrospect バックアップソフトウェアの内容



















  - EMC Retrospect Desktop for Macintosh (5クライアントライセンス)
  - EMC Retrospect Professional for Windows (5クライアントライセンス)







- 2 Windows, MacまたはLinuxのにRAIDarユーティリティをインストールし、
- 3 RAIDarを起動して下さい。(詳細はCD-ROM内にある、クイックセットアップガイドを参照して下さい。)
- 4 ReadyNASの電源を入れてください。

## 6 ハードディスクの初期化 (ベアボーン購入者のみ)

- ReadyNASベアボーンシステムをご購入された場合、ハードディスクの取り付け及びオプションのRAID構成（下記のセクション [A](#) を参照して下さい。）が終了後、ボリュームの作成が終了するまでReadyNASのセットアップ・ウィザードにアクセスできません。ディスクの容量にもよりますが、およそ2時間程度必要です。
- RAIDの同期が完了し、システムが完全な冗長構成になるまでに、約2～10時間程度必要です。バックグラウンドでRAIDの同期を行っている間は、NASへのアクセスは通常よりも遅くなります。RAIDarのインフォメーションカラムに現在のインストール・タスクあるいはエラーを表示します。下記の図は、ディスクドライブが初期化中に明滅するLEDの状態を説明したものです。

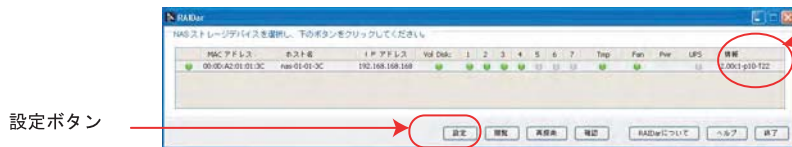
経過時間	1 2 3 4 Act	状態説明	LCDの表示	RAIDar「情報」カラム
2分間	○ ○ ○ ○  		OS Booting.	
10分間	○ ○ ○ ○  	RAIDarからRAID設定の入力待ち。	Awaiting RAIDar	設定ボタンをクリック
約2時間	○ ○ ○ ○   ● ● ● ●  	ボリュームの作成中 この間ReadyNASにアクセスは出来ません。	Installing Creating Volume / Booting	インストール中 作成中 / 起動中
約10時間	● ● ● ●   ●	RAID同期中。この時ReadyNASにアクセスは出来ません。	'IP Address', 'Host Name'	ファームウェア・バージョン
	● ● ● ● ○ ●	正常状態。ReadyNASは冗長化されています。	'IP Address', 'Host Name'	ファームウェア・バージョン
エラー*	    ○  ○  ○ ○ ○ ○ 	全てのディスクLEDが一斉に点滅しその後ディスク2のLEDが点滅を繰り返している時、ディスクの認識が出来ませんでした。	Error. No disk detected.	ファームウェア・バージョン
エラー*	● ● ● ●  ● ○ ●	不良ディスクを検知した時、そのディスクのLEDが1秒に1回の点滅します。	'IP Address', 'Host Name'	ファームウェア・バージョン

凡 例: ○ LED消灯        LED遅い点滅  
● ● LED点灯        LED早い点滅

\* 注：インストール中に、何らかのエラーを検知した為です

## 7 ReadyNASの設定

- 1 ReadyNASの電源を投入後、RAIDarのスキャンリストの中でReadyNASシステムを見つける事が出来ます。しばらくすると、設定ボタンがクリック出来るようになり、設定ボタンをクリックするとセットアップ・ウィザードを起動する事が出来ます。ユーザ名にadminそしてパスワードにnetgear1 を使用する事でログイン出来ます。



ReadyNASの使用準備が出来ている場合、情報欄にはブートおよびインストール・ステータス、あるいはOSバージョンを表示します。

- 2 セットアップが完了後、ReadyNASは使用可能です。詳細な設定は、クイックセットアップガイド又は ユーザ・ガイドを参照して下さい。

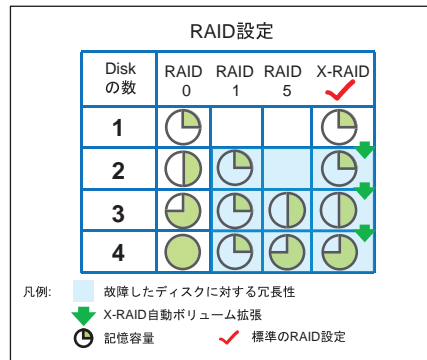
## A RAIDの設定 (オプション)

- 1 ReadyNAS NVを購入した場合、次の3つの設定の内1つが設定されています。
  - X-RAID設定のベアボーンシステム (ボリュームサイズの拡張可能)
  - X-RAID設定のディスクブレイクインストールシステム (ボリュームサイズの拡張可能)
  - RAID 0/1/5 設定のディスクブレイクインストールシステム (柔軟なボリューム構成可能)

上記の標準設定を変更したい場合のみ、X-RAIDとRAID 0/1/5を切り替える為に下記のステップに従ってください。(いつもこの手続きを実行する必要はありません。選択したモードを変更しない限り、ReadyNASは選択したモードを実行します。)






- 2 RAIDモードを設定する為に、工場出荷時の設定を実行して下さい。  
工場出荷時の設定を実行する場合、ReadyNASがネットワークに接続されており、RAIDarが起動されている事を確認して下さい。

⚠ 「工場出荷時の設定に初期化する」を実行するとディスク上の全てのデータは消去されます。




# RAIDの設定 (つづき)

## 3 初期化の手順

① ReadyNASの電源を落として下さい。	OFF 
② “システムリセット”スイッチの穴にクリップ等先の細いものを入れてください。	● SYS RST
③ ReadyNASの電源を入れてから30秒間“システムリセット”スイッチの穴を押さえます。	ON 
④ 5秒又は30秒経過すると4つのディスクLEDが1秒間点灯します。	  
⑤ 30秒経過時にLEDが点灯したら“システムリセット”からクリップ等を離してください	

## 4 RAIDarでRAIDレベルとボリュームタイプを選択して下さい

- ① 工場出荷時の設定を実行後、RAIDarの情報欄に“設定ボタンをクリック”と表示されます。
- ② “設定”ボタンをクリックすると、ReadyNASのボリューム設定スクリーンが表示されます。
- ③ 拡張可能なボリューム (X-RAID) 又は柔軟なボリューム管理 (RAID 0/1/5) を選択して、“初期化の開始”ボタンを押して下さい。ボリュームの作成及び初期化プロセスが始まります。

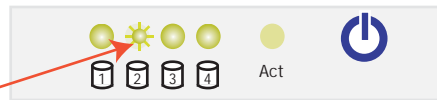
 10分間何も設定を行わない場合、自動的に標準設定のX-RAIDを選択し5GBのスナップショット領域を予約します。



## B 不良ディスクの交換

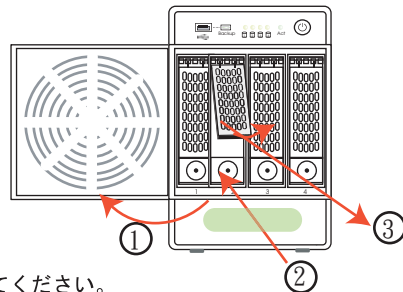
- 1 不良ディスクに対応したディスクステータスLEDはゆっくり点滅します。

ディスクNo2不良



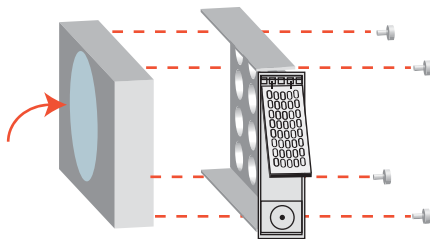
- 2 ReadyNAS NV+から不良のディスクトレイを外してください。  
ReadyNAS NV+はホットスワップをサポートしていますので、電源を落とさずにHDDの交換が出来ます。

- 1 ディスクトレイドアを開きます。
- 2 ボタンを押して、レバーを起こします。
- 3 ディスクトレイを取り外してください。

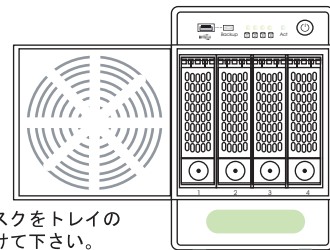


- 3 不良ディスクをトレイから外し、新しいディスクを取り付け、NVの筐体に戻してください。

ハードディスク  
コネクタ側



ハードディスクをトレイの  
中に取り付けて下さい。

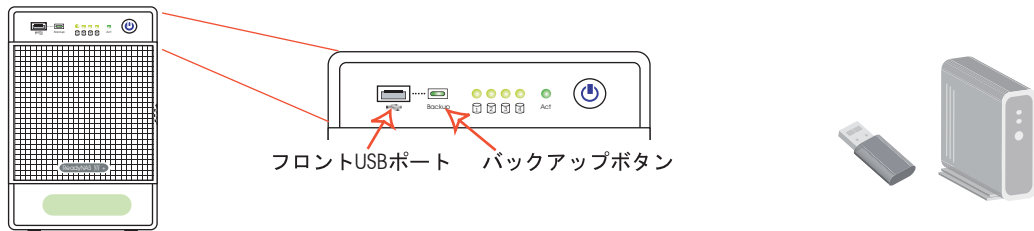


- 4 システムは、バックグラウンドでRAIDの同期作業を行います。そして、この作業が終了するとemailでユーザに通知されます。



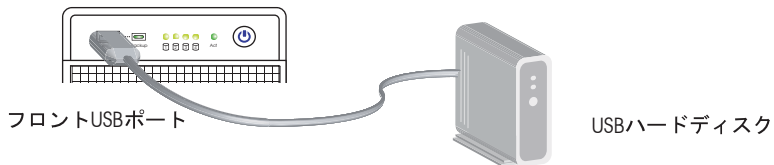
## C バックアップボタンとフロントUSBポートの使用方法

- 1 バックアップボタンは正面のUSBポートに対応しています。



- 2 標準で、バックアップボタンは、正面のUSBポートに直接接続されたUSBディスクにReadyNAS NVの「backup」共有のデータをコピーします。

- ⚠ 正面のUSBポートにUSBハードディスクを接続する前にバックアップボタンを押さないで下さい。



- 3 FrontView中のバックアップメニューで、いくつかのバックアップジョブを簡単にバックアップボタンにプログラムする事が出来ます。

# NETGEAR®

NETGEAR, Inc.  
4500 Great America Parkway  
Santa Clara, CA 95054 USA

---

©2007 NETGEAR, Inc.  
NETGEAR、NETGEAR ロゴ、Gear Guy、Connect with Innovation、Smart Wizard は、  
米国およびその他の国における NETGEAR, Inc. の商標または登録商標です。  
Microsoft および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。  
その他のブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。  
記載内容は、予告なしに変更されることがあります。

禁無断転写

2007年10月



2 0 1 - 1 1 2 1 3 - 0 2